



たからmikke通信



発行 授業研究部

第10回校内研修会で、通信の名前が『たから mikke 通信』と決まりましたので、これからはそう呼んでください。(^^)

さて、今回も『イキイキ道徳授業を創ろう』(大鐘雅勝著)より、前回紹介しきれなかった部分を紹介します。導入と発問編です。

*

【イキイキ導入で引きつける】

- ・「イキイキ道徳授業」では、授業の最初の段階（導入の段階）から生徒を引きつける。
- ・生徒の興味を引く発問をしたり資料を示したりすることによって、
 - その日のテーマに生徒を引きつけ、
 - 意見を出しやすい雰囲気を作る
- ① 意識調査の結果を示す
 - ・生徒にアンケートをしておき、その結果から授業を始める
 - ・各種の世論調査の結果を示す
- ② その場で意識調査を行う
 - ・集計にそれほど手間がかからない場合
 - その日のテーマにつながっていく質問
 - 誰でも、その場で考えられる質問
 - 友だちがどんな答えを言うか、興味を引かれる質問
 - ・生徒は質問に対する答えを考え、友だちの答えを楽しんで聞きながら、その日のテーマにいつの間にか引き込まれていく、というわけである。
- ③ 頭の体操をする
 - ・簡単な頭の体操をする
 - 詩や俳句の空欄を埋める
 - まんがのセリフの空欄を埋める
 - ・自分の発想と作者の発想の違いを知り、その日のテーマへと自然に入っていく。
- ④ いきなりその日の資料にはいる
 - ・その日の資料自体が気楽に読めるものであるとき
 - ・その資料を用いた第1発問が意見を出しやすいものであるとき
 - ・扱うべき資料が多く、時間的にきつくなることが予測されるとき

【ホンキにさせる発問を】

・同じ資料を用いても、発問の善し悪しで「イキイキ授業」になるかどうかが決まる。

①<資料>登場人物が、「どうすればよいか」と迷っている場面を示す。

<発問>

ア. このとき〇〇さんはどうしたのでしょうか。

→〇〇さんの性格をふまえ、最善かどうかはさておき、〇〇さんはどうしたただろうかと問う。

イ. こんなとき〇〇さんはどうすればよいのでしょうか。

→どうすることが最善かどうかと考える。

ウ. こんなとき君が〇〇さんならどうしますか。

→そのときの状況を考えながら、自分自身の性格をふまえた上で「最善かどうかはともかく、自分ならばどうするか」と自分のこととして考える。

②<資料>

ア. 賛否が分かれるような主張を示す。

イ. 答えが A,B とはっきり分かれるような疑問を投げかける。

<発問>

(アに対して) 〇〇さんの意見についてどう思いますか？

(イに対して) 〇〇さんの疑問に対してあなたはなんと答えますか？

*

「こんな導入がよかった」「こんな発問が子どもたちを引きつけた」と言うようなものがありましたら、研究部の方にお知らせ下さい。よろしく。

<蛇足> 韓国のねばり強い試合を見ながら、試合の合間にこれを書いていましたが、日本代表の試合と比べ、勝利にかける意気込みが違って見えたのは私だけでしょうか。

また、サッカーを見ていると、それだけで「愛国心」のようなものを感じてしまうのですが、これって正常なのでしょうか？「日本人だから日本代表を応援する」というのは「愛国心」と言えるのでしょうか？それとも、そんなことは当たり前すぎて「愛国心」ではないのでしょうか？あるいは、そんなものは「愛国心」とは、かんげーない別次元の話なのではないでしょうか？

これまでサッカーに興味のなかった人たちでさえ、「日本ガンバレ」「韓国ガンバレ」と叫んでしまう、この世界は、ある意味とても異様に思いませんか？ちなみに私は高校の時にサッカー同好会に入っていたことがありますので、騒ぐ権利は大いにあるのです。

それにしてもすごい試合でしたねえ。